



2016年3月期 決算概要

2016年5月13日(金)

株式会社 足利ホールディングス
株式会社 足利銀行

(1) 資金利益が3年連続の増加

- ▶ 金利低下により貸出金利息は減少するも、有価証券の分散投資によるインカム水準引上げと投信売却が寄与。

(2) 役務利益は引き続き強い

- ▶ 投資信託・保険の販売が堅調に推移したほか、私募債、貸出関連の手数料増加が寄与。
- ▶ 役務利益全体では過去最高水準であった前年同期実績を更新。

(3) コア業務純益が連続増加

- ▶ コア業務純益は4年連続増加の364億円、中計目標(2016/3期)の通期300億円台は2年連続達成。
- ▶ コアOHRは56.3%へ。

(4) 修正予想を上回る利益水準確保

- ▶ コア業務純益の増加に加え、与信関係費用の減少、保有株式の一部売却もあり、経常利益、最終利益は前年比大幅増加。
- ▶ 27年10月公表の修正業績予想を上回る利益水準を確保

決算概要(1) HD連結

◆HD連結の経常収益・経常利益・当期純利益は、前年同期比で増加するとともに、業績予想を上回る実績を確保。

《足利ホールディングス連結損益》

(億円)	14/3期 実績	15/3期 実績 ①	16/3 実績 ②	前年比 ②-①
経常収益	1,080	967	1,024	+ 57
連結粗利益	823	828	864	+ 35
営業経費	575	566	554	△ 11
与信関係費用	78	59	32	△ 27
株式等損益	111	△ 4	23	+ 27
経常利益	282	210	303	+ 92
法人税等	27	105	58	△ 47
法人税等調整額	8	△ 66	19	+ 85
親会社株主に帰属する 当期純利益	243	170	224	+ 53

(参考)

のれん償却前利益	305	232	286
----------	-----	-----	-----

16/3期 期初予想	修正予想 ③	予想比 ②-③
950	1,000	+ 24

235	280	+ 23
-----	-----	------

170	210	+ 14
-----	-----	------

決算概要(2) 銀行単体

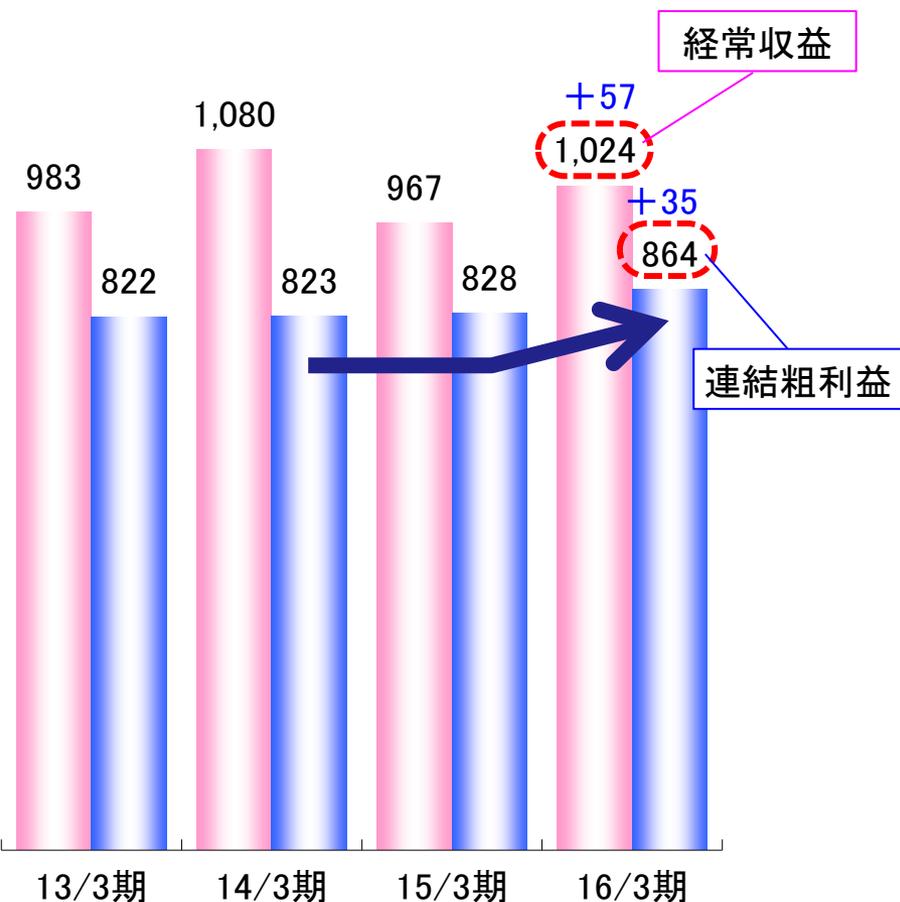
- ◆ 銀行単体の損益は、コア業務粗利益の増加と経費の減少によりコア業務純益が増加。与信関係費用の減少や株式等損益の増加等もあり、経常利益・当期純利益は前年同期・業績予想を上回る。

《足利銀行単体損益》

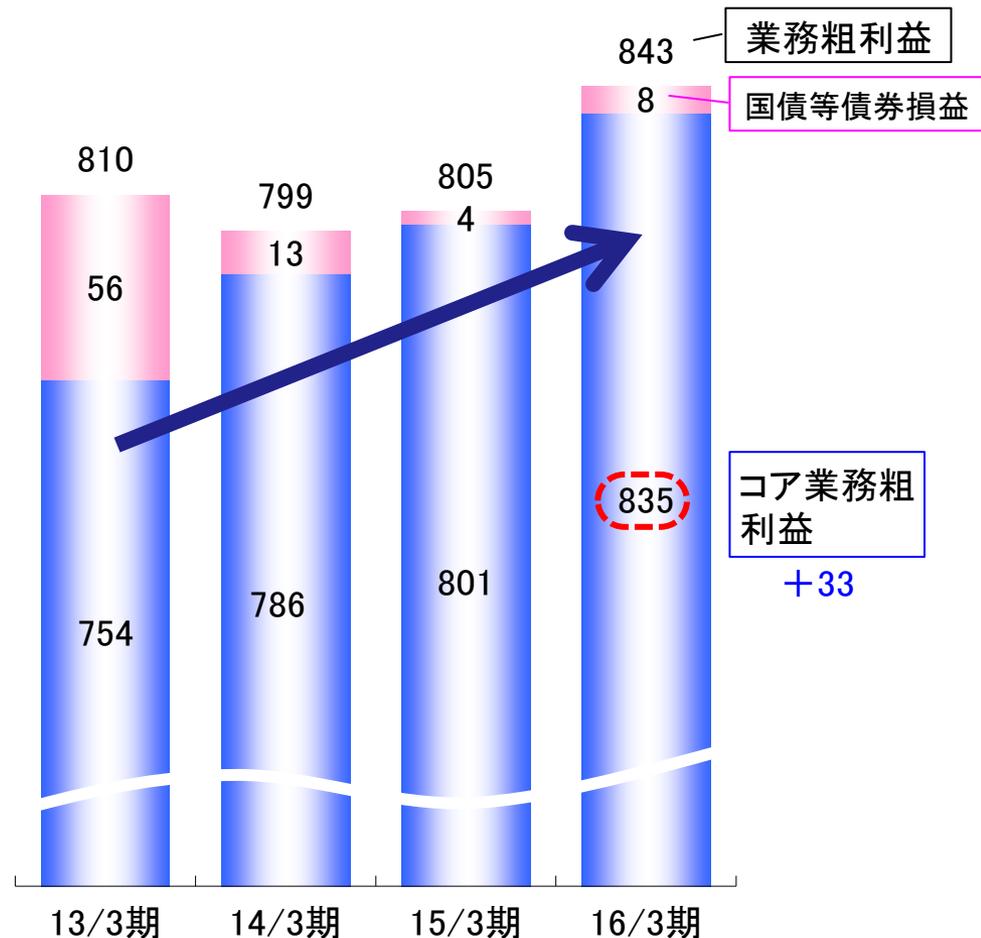
(億円)	14/3期	15/3期	16/3期	前年比	16/3期	修正	予想比
	実績	実績 ①	実績 ②	②-①	期初予想	③	②-③
コア業務粗利益	786	801	835	+ 33	795	825	+ 10
業務粗利益	799	805	843	+ 37			
資金利益	638	650	681	+ 30			
役務取引等利益	143	145	149	+ 3			
その他業務利益	17	9	13	+ 3			
国債等債券損益	13	4	8	+ 3			
経費	489	480	470	△ 9	470	475	△ 5
人件費	266	260	253	△ 6			
物件費	201	196	188	△ 8			
実質業務純益	310	325	373	+ 47			
コア業務純益	296	320	364	+ 43	325	350	+ 14
与信関係費用	74	26	△ 2	△ 29			
株式等損益	123	△ 4	25	+ 29			
経常利益	354	297	398	+ 100	305	380	+ 18
法人税等	21	101	104	+ 2			
法人税等調整額	6	△ 2	△ 18	△ 16			
当期純利益	321	197	308	+ 110	235	300	+ 8

- ◆ 経常収益、連結粗利益ともに増加に転じる。
- ◆ 銀行単体のコア業務粗利益は3年連続の増加。

【HD連結】《経常収益・連結粗利益》（億円）



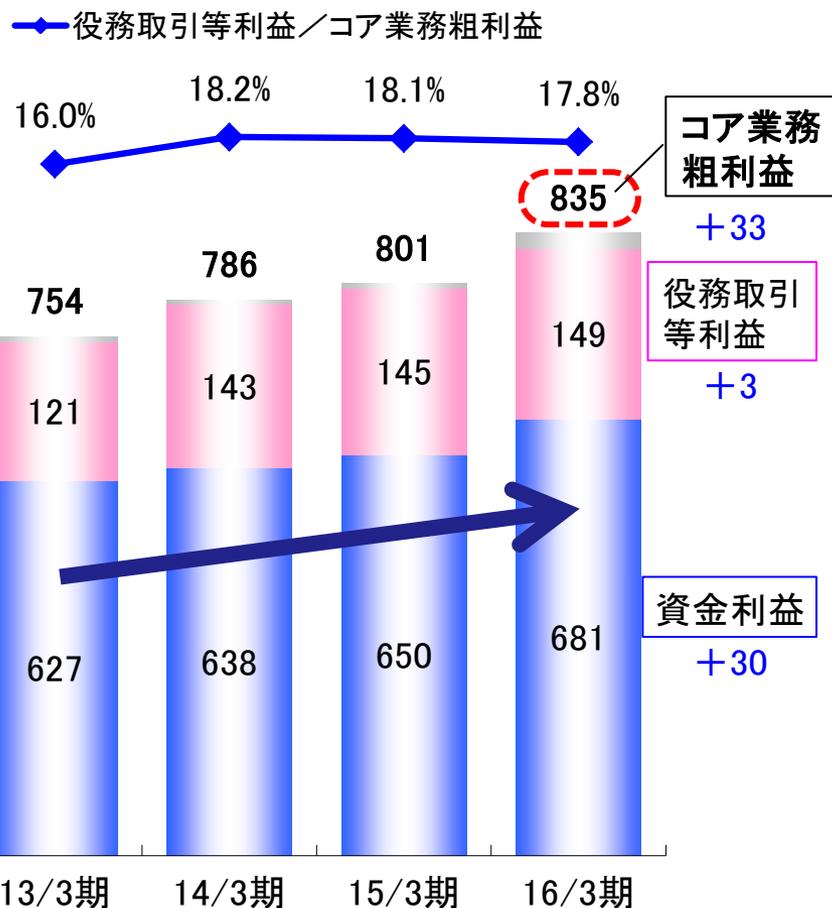
【BK単体】《業務粗利益・コア業務粗利益》（億円）



コア業務粗利益

- ◆ 資金利益・役務取引等利益ともに増加トレンドを持続。資金利益は有価証券利息配当金の増加が、役務取引等利益は私募債や貸出関係のローン関連手数料の増加が要因。

《コア業務粗利益の推移》 (億円)



《資金利益と役務取引等利益の内訳》

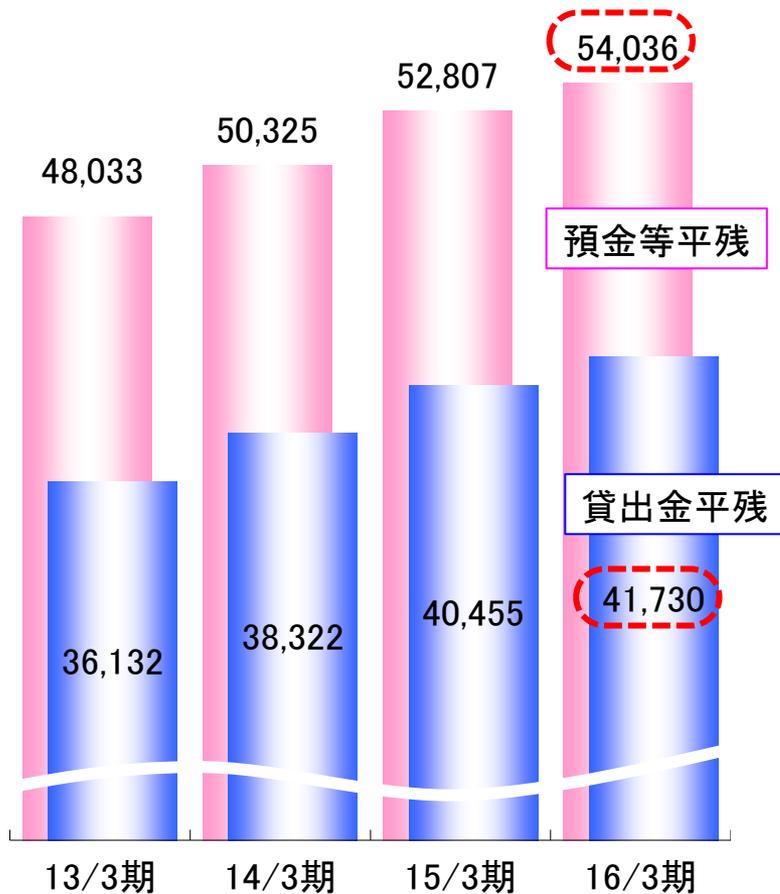
(億円)	14/3期 実績	15/3期 実績 ①	16/3 実績 ②	前年 同期比 ②-①
資金利益	638	650	681	+ 30
貸出金利息	555	550	537	△ 12
有価証券利息配当金	106	124	169	+ 45
預金等支払利息(△)	24	25	23	△ 2

(億円)	14/3期 実績	15/3期 実績 ①	16/3 実績 ②	前年 同期比 ②-①
役務取引等利益	143	145	149	+3
預り資産関連手数料	68	76	77	+0
ローン関連手数料	41	39	44	+4
機械・為替・ATM関連	71	76	76	△0
住宅ローン団信保険料	△ 31	△ 34	△ 35	△1
消費税	△ 8	△ 13	△ 13	△0

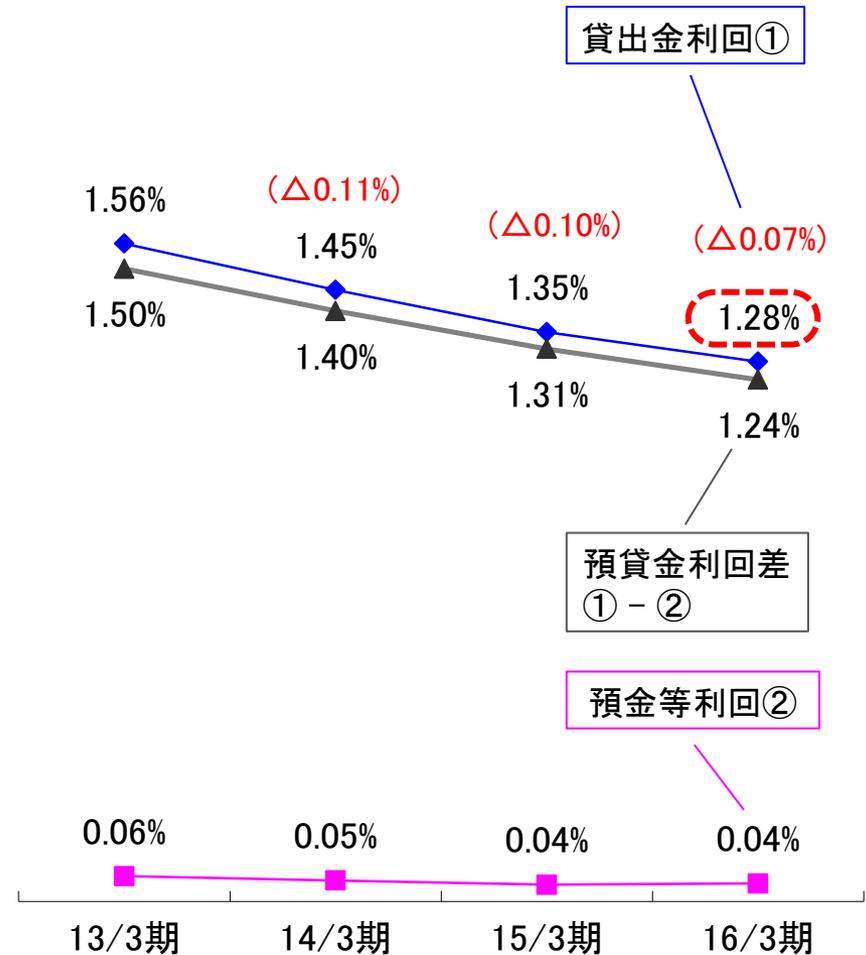
預貸金平残・利回り

- ◆ 貸出金平残、預金等平残とも、それぞれ順調に増加。
- ◆ 貸出金利回りは、低下傾向が続いている。

《貸出金平残・預金等平残の推移》（億円）



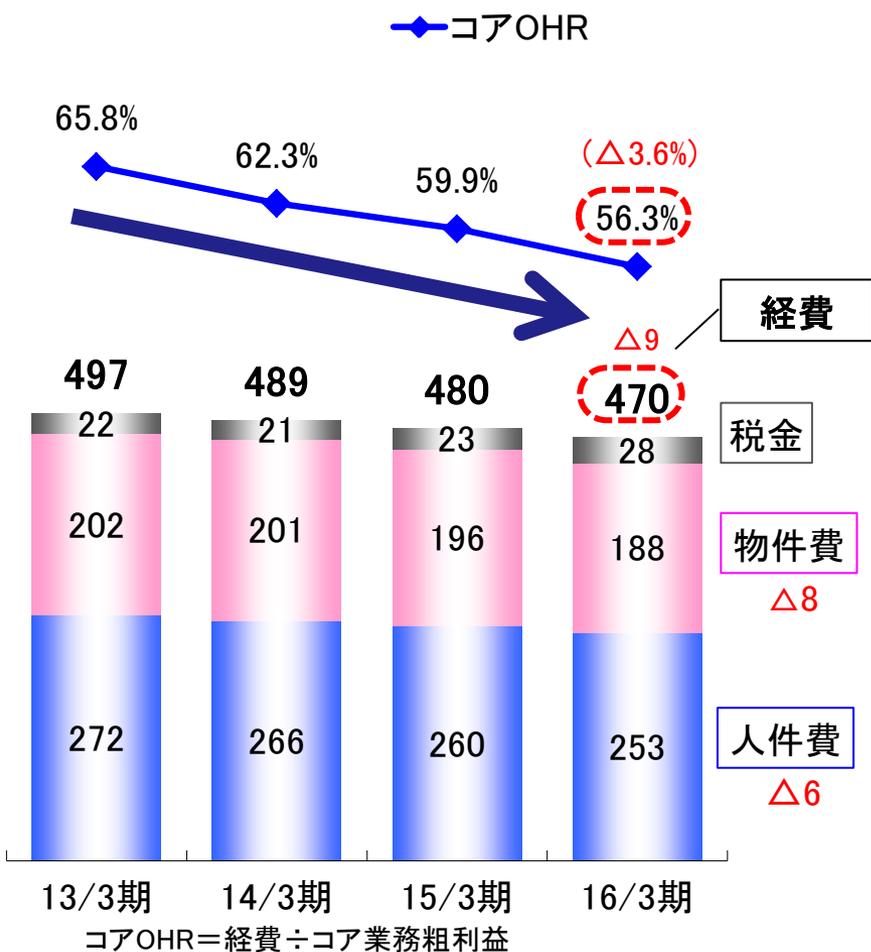
《預貸金利回りの推移》



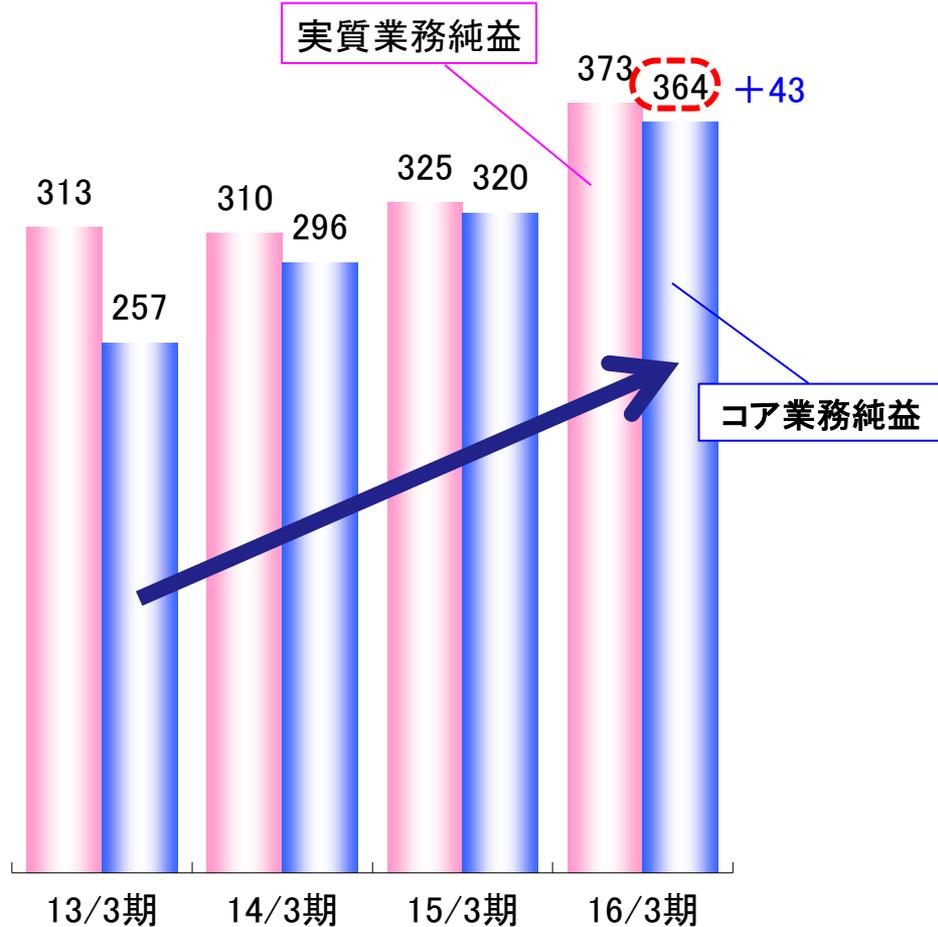
経費／コア業務純益

- ◆ コア業務粗利益の増加に加え、経費・コアOHRとも低下トレンドを継続。
- ◆ コア業務純益は順調に増加(4年連続の増加)。

《経費・コアOHRの推移》(億円)



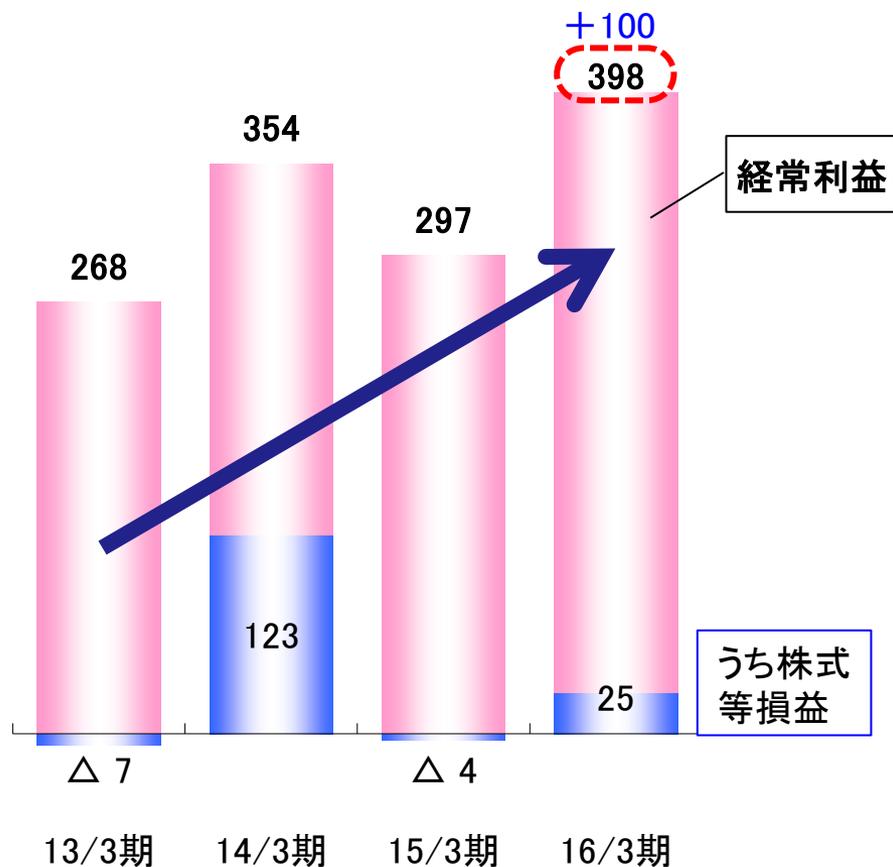
《コア業務純益・実質業務純益の推移》(億円)



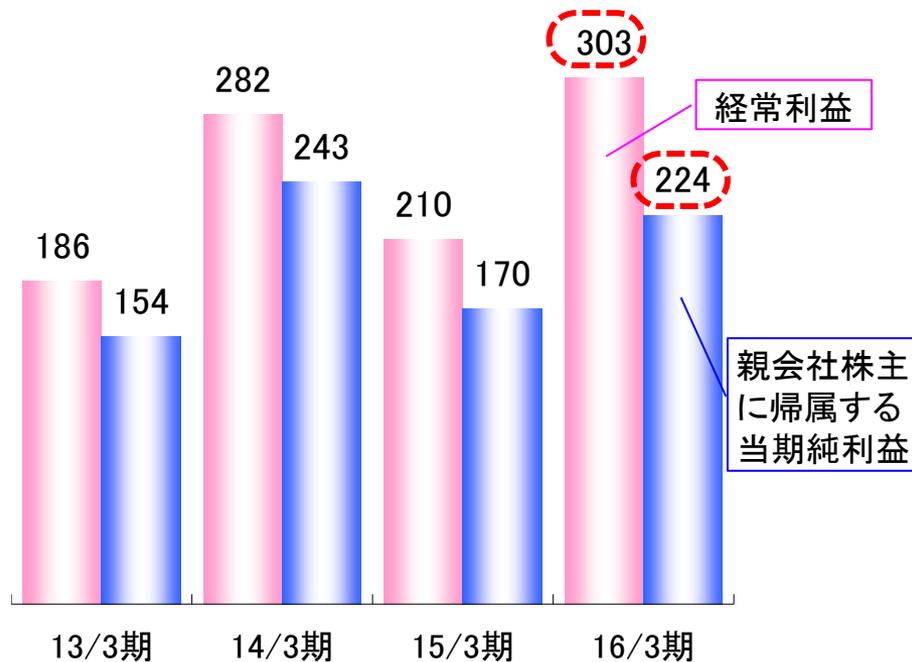
経常利益／当期純利益

- ◆ BK単体の経常利益は、株式売却益の増加等もあり、前年同期比大きく増加。
- ◆ HD連結の経常利益は、過去最高の水準。

【BK単体】《経常利益の推移》 (億円)



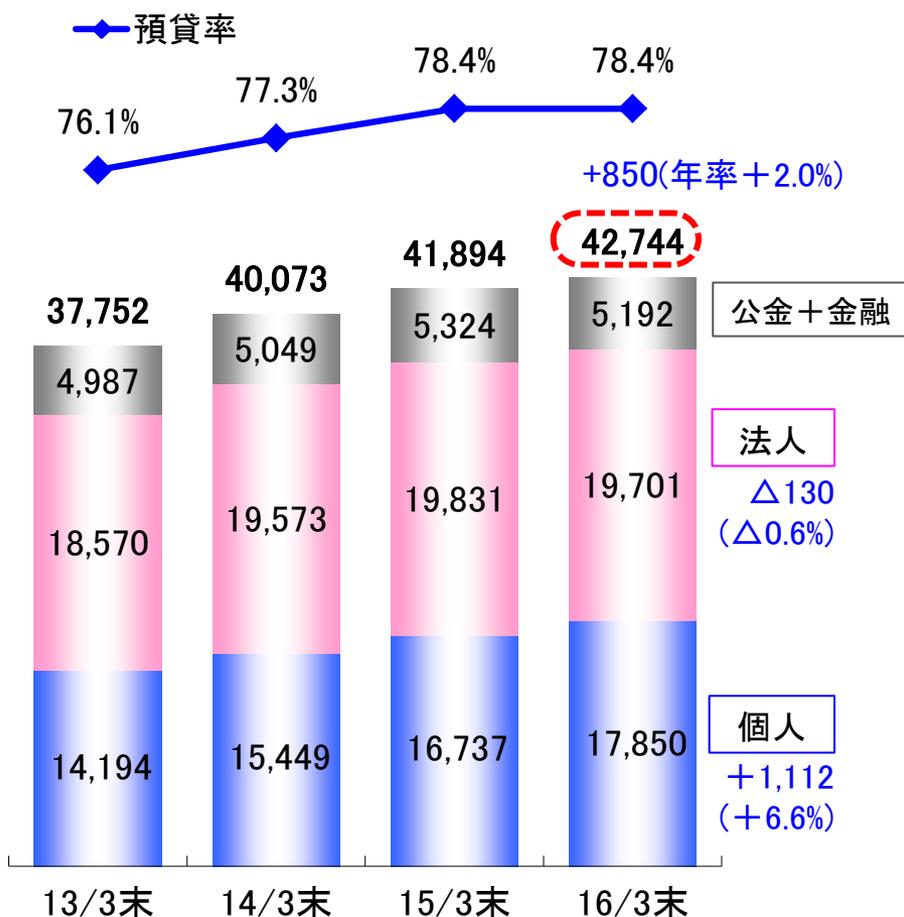
【HD連結】《経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益》 (億円)



貸出金(末残)

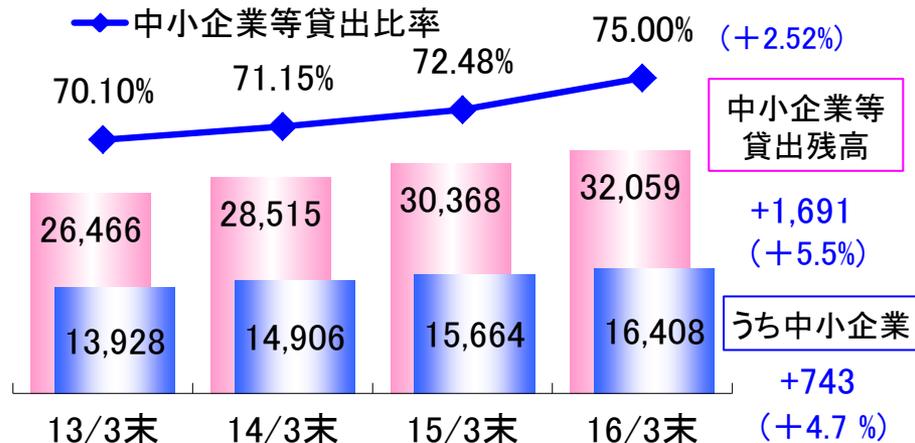
- ◆ 貸出金末残は増加を継続。
- ◆ 法人は、総体では減少となるも、中小企業向け貸出は増加を継続。
- ◆ 個人は、住宅ローンの増加が牽引。

《貸出金残高の推移(末残)》 (億円)

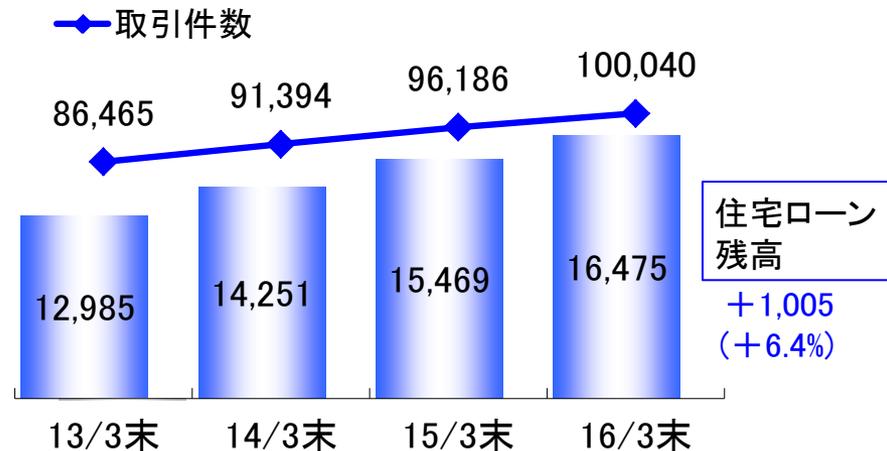


※預貸率=貸出金末残÷預金等末残

《中小企業等貸出残高・比率の推移》 (億円)



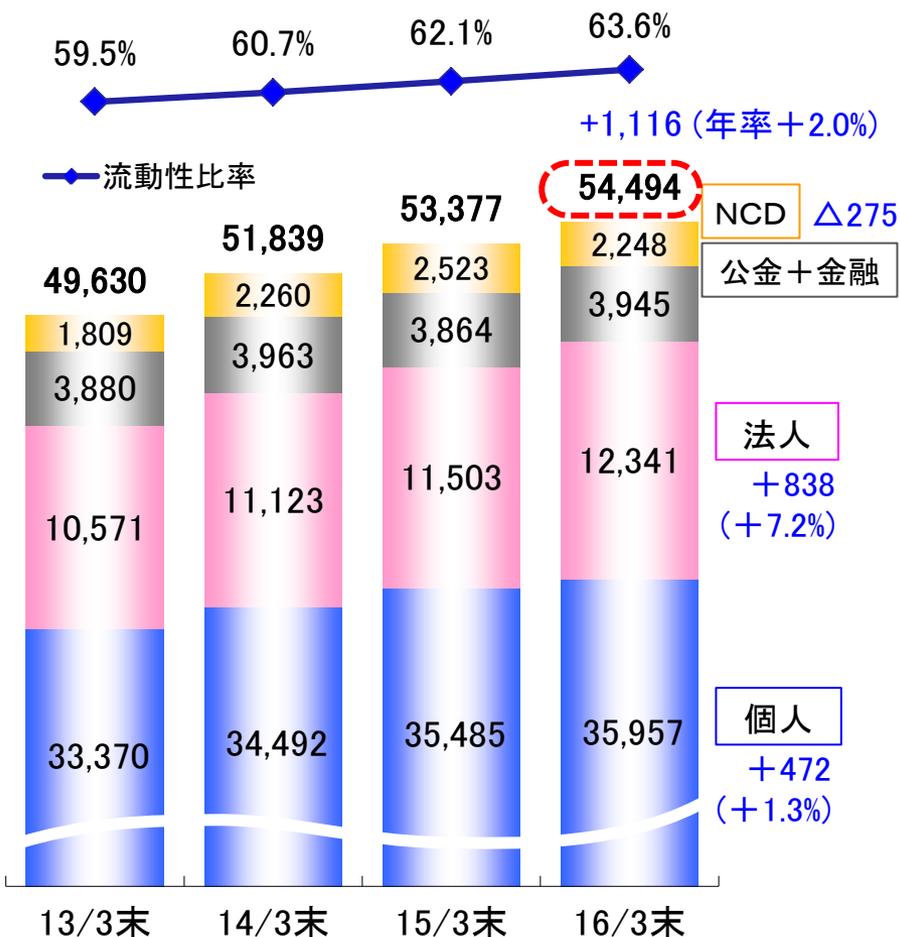
《住宅ローン残高・取引件数の推移》 (億円)



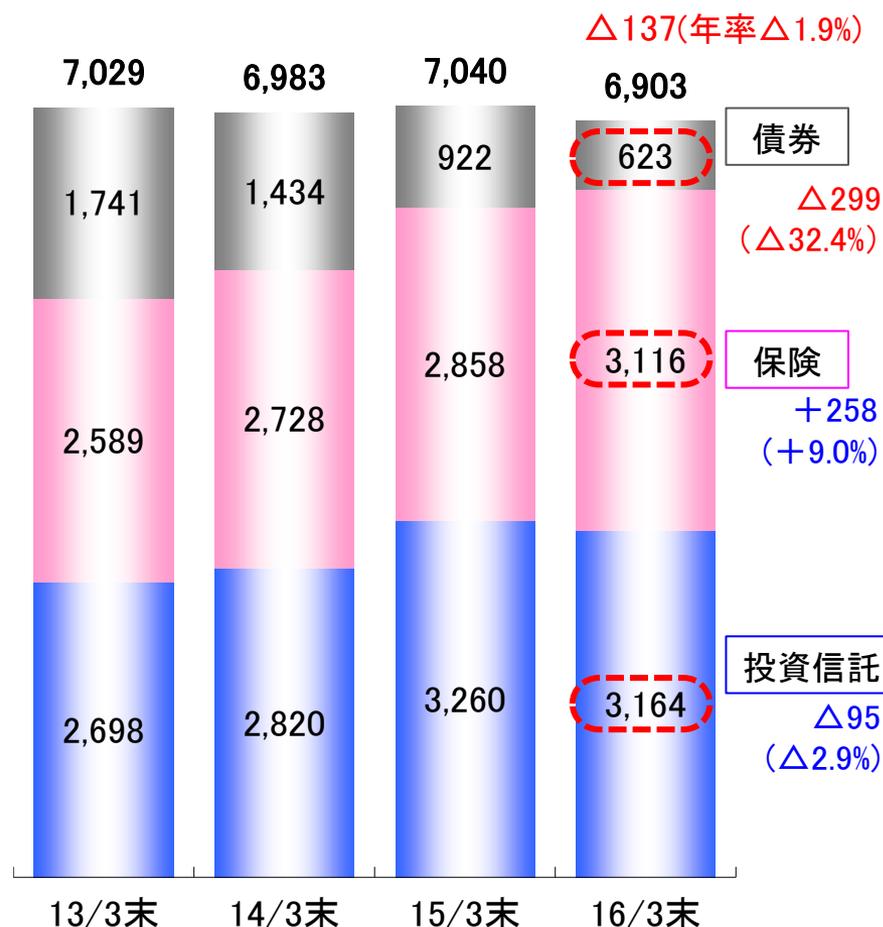
預金等(末残)/個人預り資産(末残)

- ◆ 預金等末残(預金+譲渡性預金)は、個人・法人を中心として増加を継続。
- ◆ 個人預り資産は、債券、投資信託が減少するも、保険が堅調。

《預金等残高の推移(末残)》(億円)



《個人預り資産の推移(末残)》(億円)

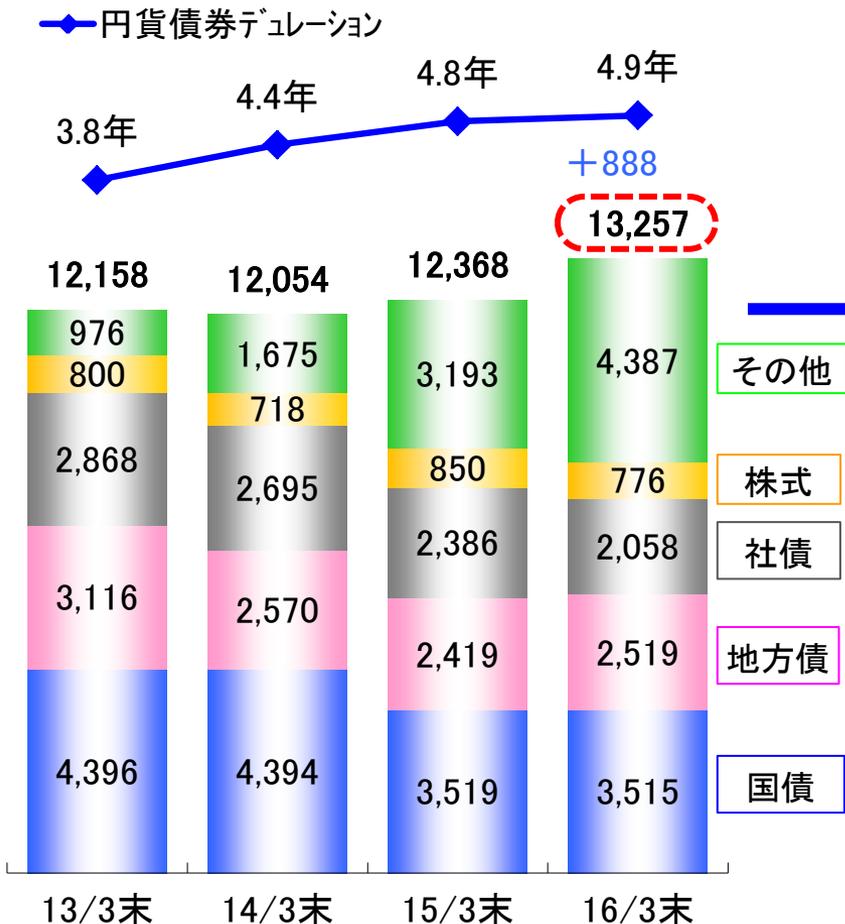


※流動性比率=流動性(当座・普通・貯蓄・通知)預金÷預金末残

有価証券

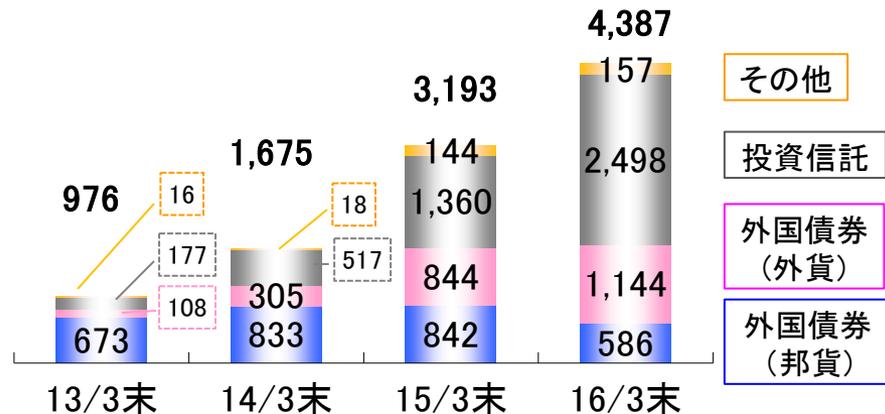
◆ 有価証券残高は、投資信託、外国債券(外貨)を中心に増加。

《有価証券残高の推移(末残)》 (億円)

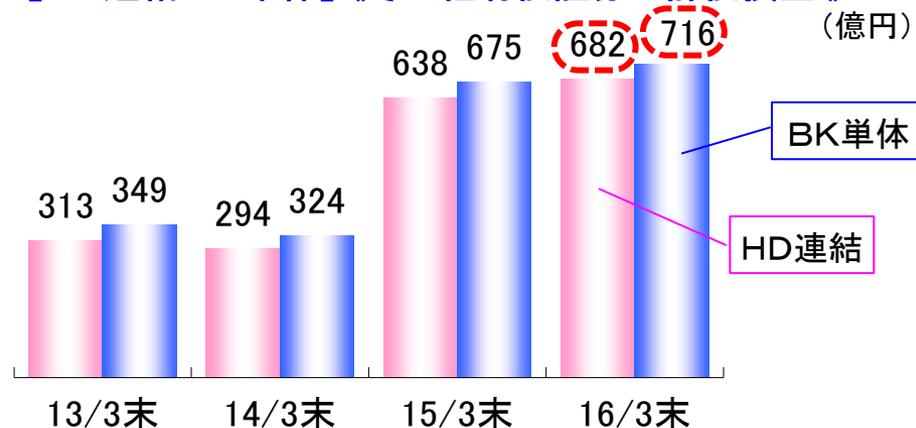


※円貨債券＝国内債券＋円建外国債券

《外国債券等残高の推移(末残)》 (億円)



【HD連結・BK単体】《その他有価証券の評価損益》 (億円)

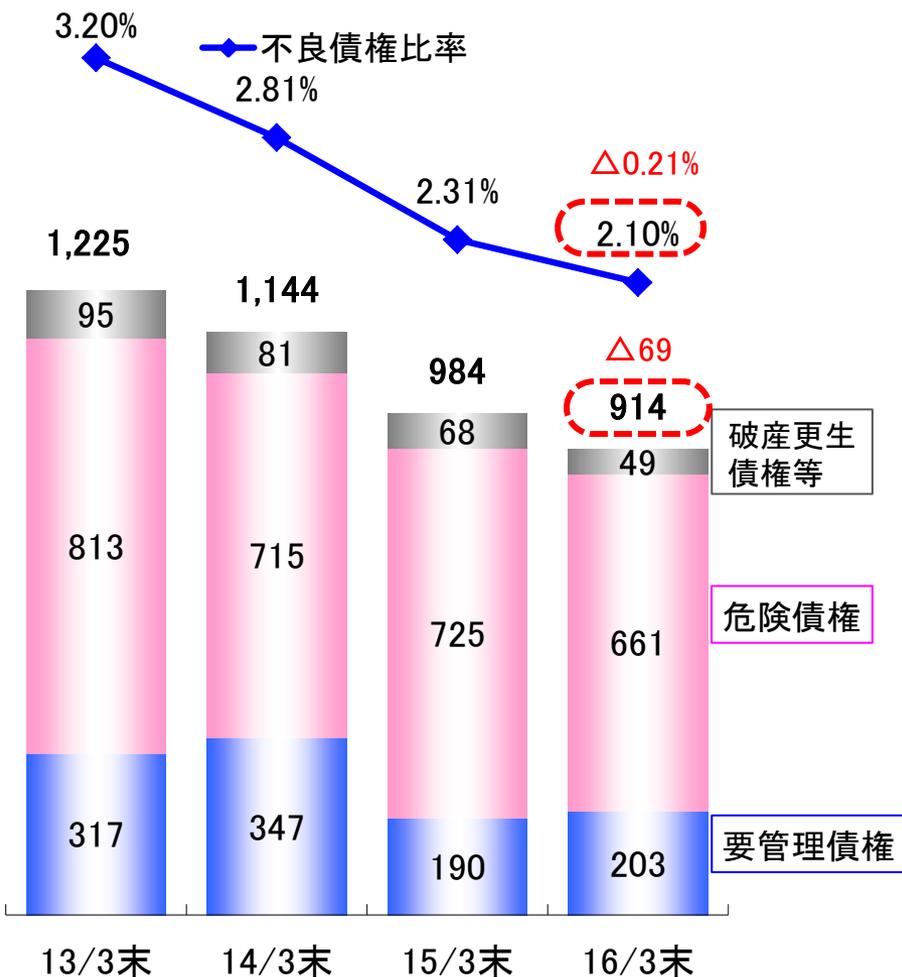


※その他有価証券＝満期保有目的以外の有価証券

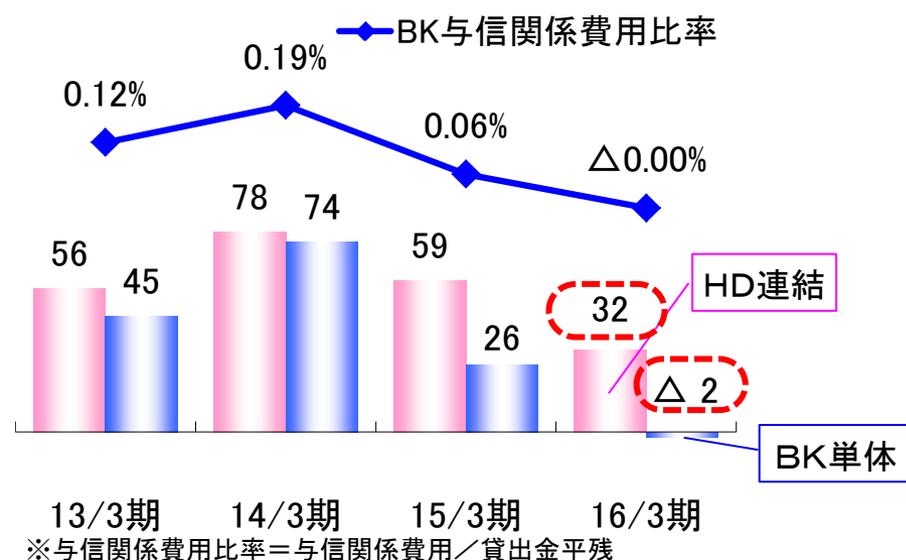
不良債権／与信関係費用

- ◆ 不良債権(金融再生法開示債権)残高・比率とも、15/3末比で低下。
- ◆ 与信関係費用はHD連、BK単ともに減少。

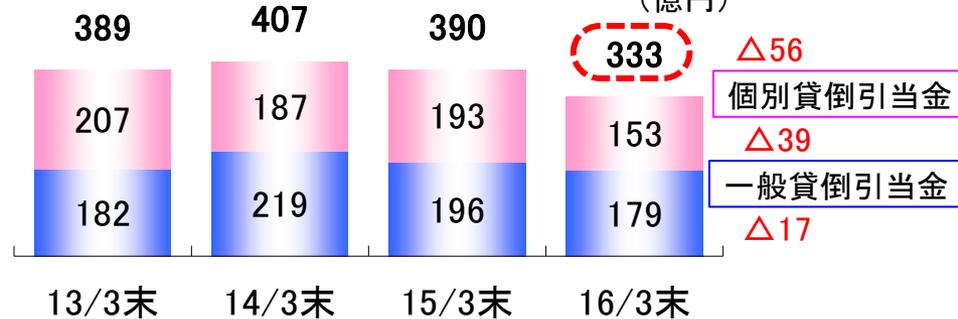
《金融再生法開示債権の推移》 (億円)



《HD連結・BK単体》《与信関係費用》 (億円)



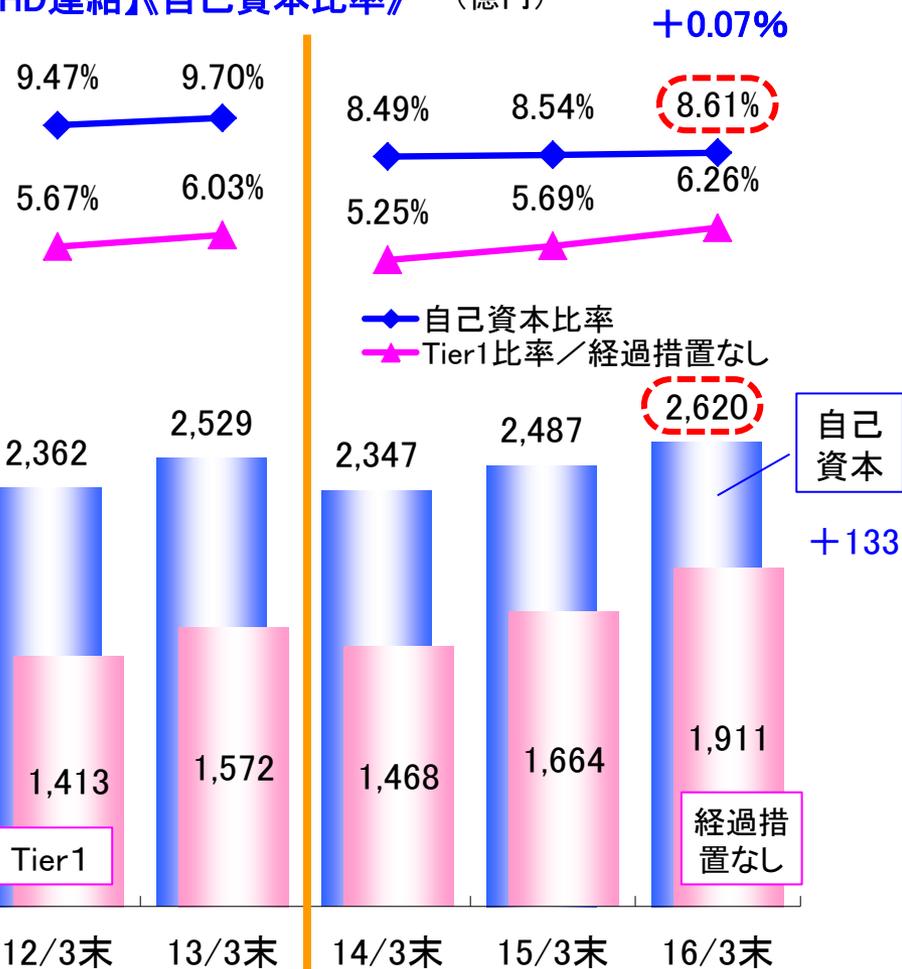
《BK単体》《貸倒引当金残高の推移》 (億円)



自己資本比率

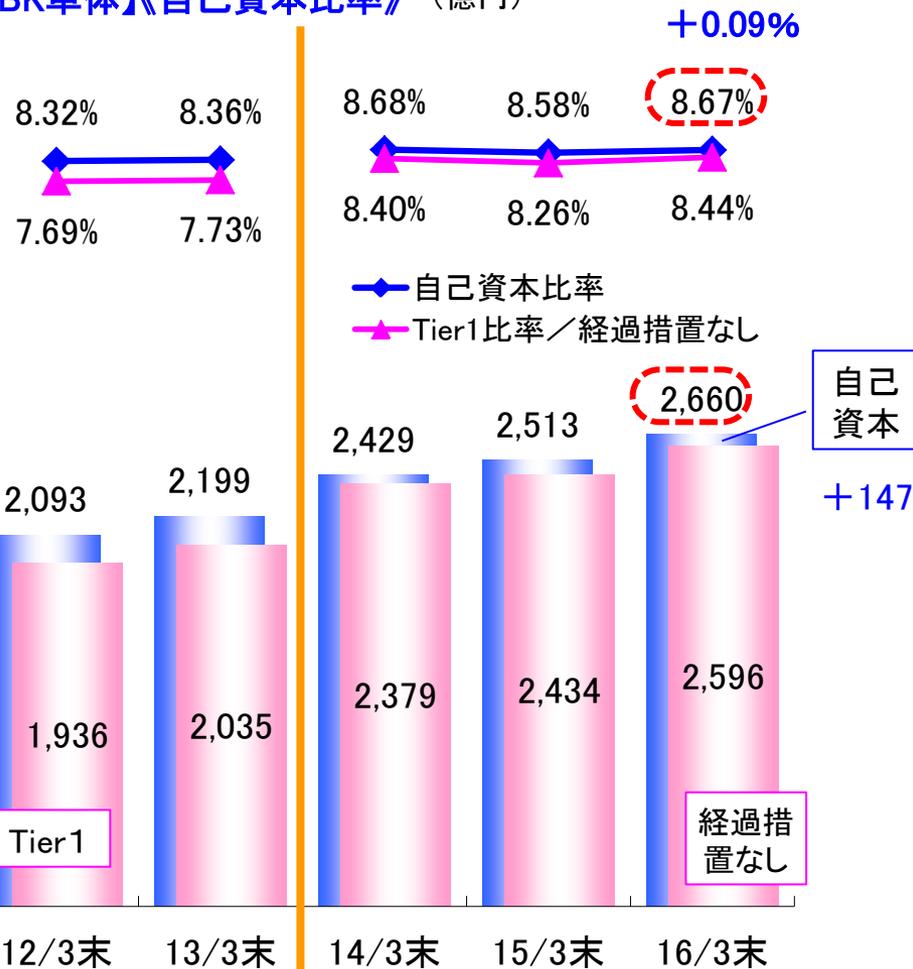
◆ 自己資本比率は、HD連結ベース・BK単体ベースとも15/3末比それぞれ上昇。

【HD連結】《自己資本比率》 (億円)



➡ バゼルIII

【BK単体】《自己資本比率》 (億円)



➡ バゼルIII

業績見通し

- ◆ 市場金利低下を受けた貸出金利息の減少、一定水準の与信関係費用の計上を見込むほか、株式売却益を予定していないこと等から、前年比減益の見通しであるが、BK単体では高い利益水準の確保を見込んでいる。

【BK単体】《業績見通し(通期)》

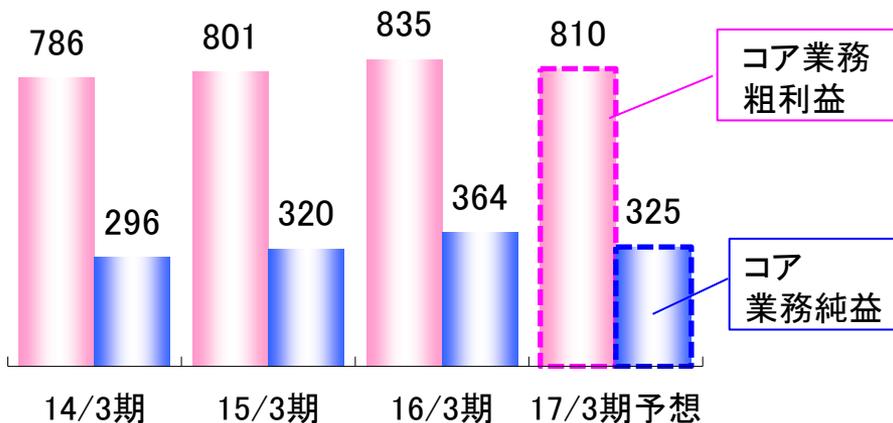
(億円)	16/3期 実績	17/3期 予想	前年比
コア業務粗利益	835	810	△ 25
経費	470	485	△ 14
コア業務純益	364	325	△ 39
経常利益	398	305	△ 93
当期純利益	308	210	△ 98

【HD連結】《業績見通し(上半期)》

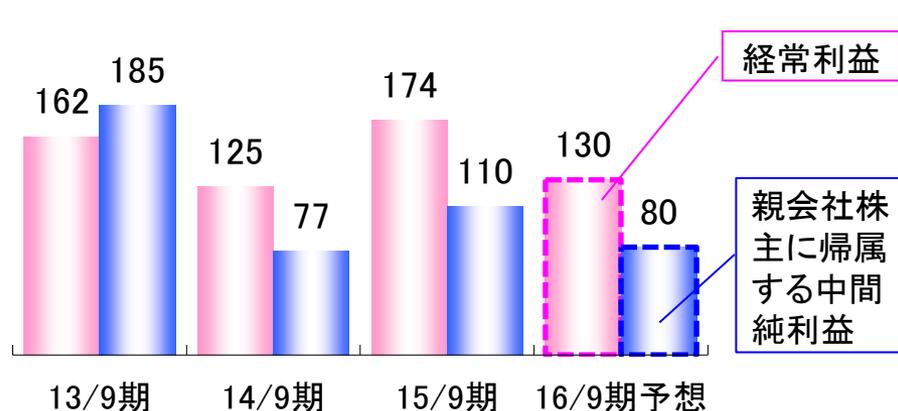
(億円)	15/9期 実績	16/9期 予想	15/9期比
経常収益	549	485	△ 64
経常利益	174	130	△ 44
親会社株主に帰属する中間純利益	110	80	△ 30

(注)2016年10月1日に常陽銀行との経営統合を予定していることから、HD連結の業績予想は上半期のみ開示。

【BK単体】《コア業務粗利益・コア業務純益》



【HD連結】《経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益》





事前に株式会社足利ホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。